

1 題材名 「修学旅行でいざ実践！ ～みんなうれしい！修学旅行のお土産選び～」

2 題材の指導計画（3時間扱い）

時	学習活動	主な評価基準
1	○実際の商品を比べてどちらを選ぶのか選択し，商品選択の視点を広げる。	・お土産を選ぶときに必要な視点を持つ。
課 外	○お土産を渡したい相手に，どんな物がほしいのかについてインタビューする。	
2	○模擬店舗やパンフレットの情報をもとに，購入計画書を作成する。	・自分なりの思いを持ち，購入計画書を作成する。
課 外	○修学旅行でお土産を選び，購入する。 ○レシートを保管しておく。	
3	○修学旅行での買物を振り返り，これからの生活にどう生かしていくのかについて考える。	・お金を使うときに大切にしたいこと，自分にできることを考えている。

3 本時の展開

(1) 目標 お土産を選ぶときに必要な視点を持ち、その視点にはさまざまな見方や考え方があると理解する

(2) 展開 (第1時)

学習活動	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	備考
1 お土産屋の写真を 見る。	3	・楽しみ! ・こんなにたくさんカステラがあるの? 選べるかな	・実際の写真を見せたり、購入できる商品を用いたりすることで意欲を高める。	お土産屋の写真
2 「契約」の概念について理解する。	7	○みんなが来週する買物は、お店の人と買う人の「契約」ですが契約が発生するのはいつ? ・お金を払っても、商品を受け取ってないならまだかも ・レジに持って行った時ならよく考えて持って行く必要がある	・「社会への扉」の契約に関するクイズを活用する。 ・「契約=店と購入者、両者の合意で発生する約束」であるという概念を理解させ、本当に必要かどうかよく考えて購入することの大切さを感じさせる。	契約クイズ
3 2つの商品を比べながら、どちらを選ぶのか選択する。	10	○明日の計画書作成に向けて、まず、2つの商品のどちらを買いたいのか考えてみましょう。	・【ESDの視点】商品を選びながら、生産地、環境、人の思い(目的に合った買物)とのつながりを意識できるようにする。 ・【ESDの視点】同じ商品でも、人によって選ぶ視点やこだわりが異なることを理解する。	学習シート お土産の商品
商品を選んだ理由を交流し、いろいろな考え方にふれよう。				
		【容器・包装の異なる商品】 ・かわいいケースに入っているから、友達にはこれがいいな ・桐の箱にお金がかかってるな ・ひとつずつあげたいときは、個包装の方がいい 【異なる味】 ・お姉ちゃんはチョコレートが好きだから、これにしよう 【賞味期限】 ・長い方が安心だね ・短い方が安いし、帰ってすぐに食べるならこっちの方がお得 【生産地】 ・国産小麦の方が高いけれど、安心だからこっちを買おう ・私は桐箱入り的高级カステラを選びました。家族がお土産を楽しみにしているの、高くて材料を厳選してある方がいいと思ったからです。	評価基準B 【技】 お土産を選ぶときに必要な視点を持つことができる。 (学習シート、発言)	
3 商品を選んだ理由を全体で交流する。	10	○ちなみにこの2つのリンゴ、みんなはどっちを買う? ・安いから外国産。 ・やっぱり国産の方が安心。 ・地球温暖化とも関係するとは思わなかった。	・選んだ理由を発表させ、その中に選んだ人の思いが込められていると理解させる。	
4 「国産」「賞味期限」の視点について、考えを交流する。	10	○「賞味(消費)期限」は、とにかく長い方がいいの? ・長い方が無駄にならない ・長持ちのために薬が入ってる ・すぐに食べるなら賞味期限は短くても大丈夫だな ・賞味期限は長い方がいいと思っていたけれど、時と場合によるんだな	・国産(398円)と外国産(298円)のリンゴのメリットとデメリットについて、児童の意見を板書しながらまとめる。国産リンゴのメリットについては、地産地消、防腐剤、フードマイレージについても触れる。 ・賞味期限の長い牛乳を、店の棚の奥から取るようとしている写真を提示し、普段の消費行動を振り返らせる。	牛乳を奥から取る写真 食品ロス資料 賞味期限と消費期限の違い
			評価基準B 【理】 お土産を選ぶときに必要な視点には、さまざまな見方や考え方があると理解する。(学習シート、発	

<p>5 本時の学習を振り返り，次時への見通しを持つ。</p>	<p>5</p>	<p>・これまで値段しか気にしていなかったが，たくさん考えることがあると分かった。 ○次は実際に何を買うのか，計画を立てるので，お土産を渡したい相手にどんな物がほしいかインタビューしておこう。</p>		
---------------------------------	----------	--	--	--

本時の展開（第2時）

(1) 目標 お土産を渡す相手への思いや社会・未来へのつながりを意識して買い方を工夫し、購入計画書を作成する。

(2) 展開

学習活動	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	備考
1 本時の学習を知る。	5	○限られた時間内で、限られたお金を有効に使うために、購入計画書を作成しましょう。 ・家族へのインタビューをしたから、買う物は決まっているよ ・カステラだけでも種類がたくさんあるから、渡す相手のことを考えてしっかり選びたい	・当日、買物の時間は約30分間であると伝え、当日のイメージを持って模擬買物ができるようにする。	学習シート (計画書)
自分なりの思いを持ち、購入計画書を作成しよう。				
2 模擬店舗やパンフレットを参考に、購入計画書を作成する。	20	・おこづかいをもらったおばあちゃんには、お礼に金箔入りのカステラを買おうかな ・帰ってすぐに家族とカステラを食べるから、賞味期限は短くても材料を厳選した物を選びたい ・昨日国産小麦を使った商品が私たちが選ぶことで、それが世の中に増えていくと分かったから、少し高いけれど選ぼう ・500円余ったけれど、無理に使わなくてもいいや たくさん買って食べ切れなかったらもったいない	・商品について疑問があれば、店員に質問するよう伝える。本時では、授業者が店員役となり、疑問をそのままにして購入することがないように練習を行う。 ・【ESD の視点】社会・世界・未来や環境とのつながりを意識した発言を称賛し、価値付けする。	商品 パンフレット 価格表 店内の写真
評価基準B 【創】 自分なりの思いを持ち、購入計画書を作成している。(学習シー				
【B基準に達成していない児童への手立て】 まず、お土産を渡す相手を決めさせる。相手が決まったら、その人への思いを聞いたり、好みを想像させたりしながら選ぶことができるようにする。				
3 自分なりの「こだわり」を友達に伝える。	10	○みなさん、自分なりの「こだわり」を持って選ぶことができましたね。それを友達に伝えましょう。 ・抹茶と小豆が好きなお母さんにピッタリのカステラを見つけた！ ・クラブチームの友達全員に渡したいから、24袋入りのラスクを選びました	・【ESD の視点】「こだわり」を伝え合うことにより、人それぞれに物の見方や考え方が異なることを実感させる。 ・お金を何に使うかの「こだわり」は、「自分らしさを表現する手段」であり、それは、お金の大きな役割であると伝える。	
4 本時の学習を振り返る。	5	・当日の買物が楽しみ ・しっかり考えて計画を立てたから、自信を持って買物できるな	・次時、出納帳を記入すると伝え、買物時にもらうレシートを保管させる。	修学旅行後の振り返りシート
5 次時の学習を知る。	5	○しっかり買物を楽しんできてね。お土産を渡すときは、どうしてそれを選んだのか、しっかり思いを伝えてね。 ・きっと家族は喜んでくれるはず！	・お土産を渡した相手からコメントを記入してもらい、思いを持った買物をするのは、気持ちが伝わるものであると実感させる。	

本時の展開（第3時）

(1) 目標 修学旅行でのお土産購入を振り返り、よりよい買物の仕方について考えることができる。

(2) 展開

学習活動	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	備考
1 買物を振り返る。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったね ・家族がカステラを喜んでくれてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・買物時の写真を提示し、児童の意欲を高める。 	買物の写真レシート
<p>買物を振り返り、これからの生活にどう生かしていくのかを考えよう。</p>				
(1) 一人で (2) 全体で	5 15	<p>○「自分」「相手」「社会や未来」3つの視点から、満足できる買物ができたか振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のリクエストに全部応えることができたから、満足 ・国産小麦を使ったちゃんぽんを選んだから、社会にとってもいい買物かな ・時間が足りなくて、とりあえずお金が足りるかどうかだけ考えて買物をしてしまった ・材料厳選のカステラを買ったけれど、桐の箱にお金がかかっているかもしれないから、どちらとも言えないな… 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分」「相手」「社会や未来」にとって満足できる買物であったかどうか、表を用いて考えさせる。 ・【ESDの視点】「社会や未来」にとって満足できる買物だったか、という視点を設定することにより、消費者市民社会の構築に向けた児童の意識付けを図る。 ・振り返りを全体で共有することにより、満足できなかった部分を改善するためにはどうしたらいいのだろうか、という新たな問いを持たせる。 ・【ESDの視点】「お金」は必要な物を買うときに使うだけの物ではなく、「社会を動かす力になる」「自分らしさを表現する手段になる」という価値を再度、全体で共有する。 	学習シート
2 これからの生活でお金を使うときに大切にしたいこと、自分にできることを考える。 (1) 一人で (2) 全体で	5 10	<p>○今回の経験を生かし、お金を使うときに大切にしたいこと、自分にできることを考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な物を必要なだけ買う ・どうしてそれを買うのか、目的を考える ・買いたい物がない時は、無理やり買わなくてもいい ・社会に増えてほしい商品を考えながら選びたい ・自分だけじゃなくて、人のことも考えて使いたい 	<p>評価基準B 【創】 お金を使うときに大切にしたいこと、自分にできることを考えている。(学習シート、発言)</p>	
			<p>【B基準に達成していない児童への手立て】 「今度買いたい物があるときに、どんなことに気を付けて買物をするのか」を尋ね、具体的な場面の中で考えさせる。</p>	
4 本時及び題材の学習を振り返る。	5	<p>○社会や未来のために、今の自分にできることを考えながら、これまでの学びの振り返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの買物で、社会をつかっていくことができるという考え方を知ることができてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・【ESDの視点】「地球規模で考え、足元から行動する」ために、自分のことから実践するよさを伝える。 	学習シート

<参考文献>

- ・横浜市小学校家庭科研究会（平成26年）. 家庭科指導ハンドブック
- ・金融広報中央委員会「知るぽると（金融教育ガイドブック～学校における実践事例集～）」
https://www.shiruporuto.jp/education/howto/container/guide/pdf/seikatsu/J_p070.pdf
 (2020年2月13日)